

# JA福岡大城みどりの食料システム戦略推進協議会

(福岡県大川市、三潴郡大木町、久留米市城島町)

R3補正  
R4当初

49

## 背景・課題

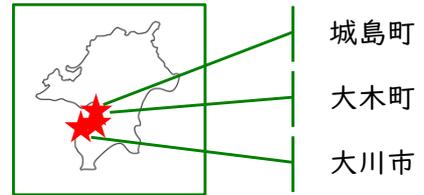
JA福岡大城管内は土地利用型農業が盛んな地域であり、大豆は基幹作物の一つである。しかしながら、燃料価格の高騰や高齢化による労働力不足から生産者の負担が今まで以上に増加している。

## 成果目標と達成状況

実施地域の大豆栽培において、部分浅耕一工程播種を導入することで事前耕起を省略できるため、播種に係る燃料消費量の削減等によりCO<sup>2</sup>やN<sup>2</sup>Oの発生量を削減した。また、除草剤散布に少量散布ノズルを使用することで播種前の茎葉処理除草剤の散布作業を省力化し、高濃度少水量散布が可能となった。

## 取組の成果

今回の事業取組での部分浅耕一工程播種技術の導入により、事前耕起を省略することで、適期播種が促進された。さらに、慣行二工程播種（荒起こし+播種）と比較して、燃料消費量が2.2L/10a作業時間が0.56時間/10a削減され、CO<sup>2</sup>やN<sup>2</sup>Oの発生量削減と省力化に繋げることができた。また、少量散布ノズルを使用することで、水の運搬回数を慣行19回から3回へと大幅に減らすことができ、さらなる省力化に繋がった。



## 構成員

JA福岡大城、JA福岡中央会、JA全農ふくれん、生産者、福岡県農林業総合試験場、福岡県筑後農林事務所南筑後普及指導センター、関係市町 等

## 品目

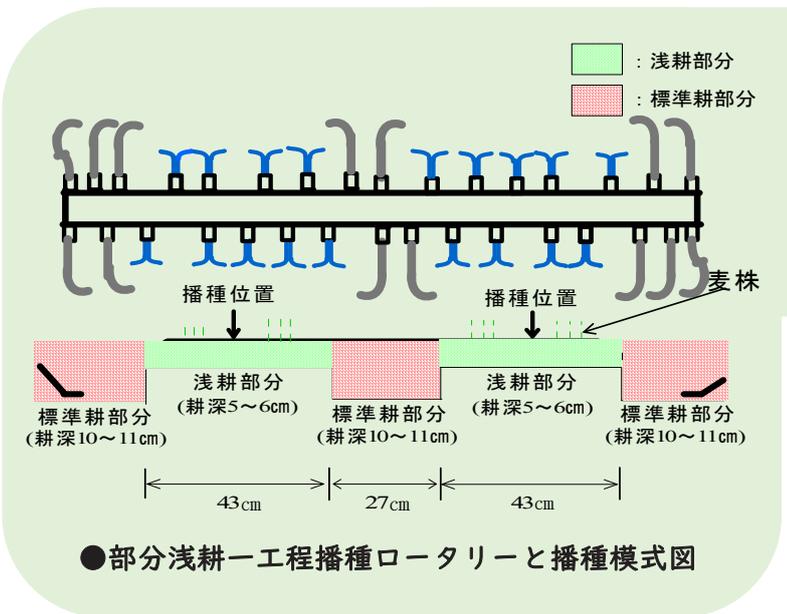
大豆

## 栽培マニュアル・産地戦略

産地戦略



<http://jafooki.or.jp/pdf/einou/PDF/R5/santisenryaku.pdf>



●ラウンドアップ専用少量散布ノズル

## 普及に向けた取組

部分浅耕一工程播種技術の既導入経営体での技術定着を図るとともに、取組面積の拡大を推進する。また、水分ストレス（降雨・乾燥）に強い技術特性を活かし、早播き適性を有する新品種への転換に併せ、梅雨時期であっても適期播種の徹底を進め、収量・品質向上を目指す。

問い合わせ先

JA福岡大城みどりの食料システム戦略推進協議会  
TEL：0944-32-1316